

ニンニク

使用産地：青森県、香川県、岡山県など

使用目的：

ニンニクは、地力をよく使う作物と言われており、連作を行うと収量低下の可能性が高い作物です。また黒腐菌核病や紅色根腐病、イモグサレセンチュウなどの土壌病害も発生することもあり、収量の維持向上のために使用されています。

#根張促進 #肥大促進 #排水性・保水性の改善 #肥沃さの維持 #微生物性の改善

使用方法：①土壌消毒実施後の元肥と同時散布 ②緑肥すき込み時 ③追肥など

マイナビ農業2024年8月30日掲載

[有機物と微生物資材「コフナ」の併用で 微生物を活用した自然に優しい土づくり](#)

<青森県>

※土壌消毒後のパターン

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
旬	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
青森県・十和田市	→					■			▲	→		
ニンニク						収穫			コフナ元肥同時散布 7袋/反 定植			

使用時期：9月上旬から中旬

使用数量：7～10袋/10a

定植時期：9月下旬から10月上旬

収穫時期：6月下旬

<西南暖地（香川県、岡山県など）>

使用時期：元肥と同時、もしくは転作田などの

排水不良圃場の場合、緑肥等すき込み時

使用数量：元肥と同時施用の場合 10～20袋/10a

緑肥（もしくは麦）すき込み時に 5袋/10a

定植時期：10月上旬から下旬

収穫時期：5月から6月にかけて



※コフナを2月下旬からの追肥と共に散布することもあります。